

Arche Letter

NPO中間支援組織
アルシェの情報誌
2017



アルシェって？

北播磨地域の市民活動活性化を
目的とし、活動しています。

おもな事業

エクラ指定管理・行政の事業受託
NPO支援事業・子育て支援事業 他

2010年9月20日発行
NPO法人 北播磨市民活動支援センター
(愛称:アルシェ)

総会の報告

アルシェの平成22年度通常総会を6月13日に無事終えることができました。総会は、正会員によって構成されるアルシェの最高議決機関です。

事業・決算報告書や予算書を中心に、当法人の現状を確認し、進むべき方向性や運営についての審議が行われました。

参加者から多数の質問やご意見もいただき、たくさんの方に支えられていることを再認識しました。ここで当日の質疑応答の一部を紹介します。

Q. 赤字対策のために人件費を縮小するのとこのですが、具体的には？



A. 職員の給与を減額するのではなく、効率化を図ります。成果と報酬のバランスがうまく取れるように対策を講じます。

Q. アルシェが行っている、障がい者支援の取り組みについて、例えばどういったものがありますか？

A. 清掃職員として障がい者2名を雇用しています。また、本年初めて、小野特別支援学校からトライやるウィークの受け入れを行います。



考えてること、しゃべらせてもらいます！



「うさぎとかめ」

NPO 法人 北播磨市民活動支援センター 副理事長 後藤友栄

ごとう ゆうえい

もしもしかめよ かめさんよ～世界のうちで・・・♪で始まる、「うさぎとかめ」の話は、誰もがよく知っている。うさぎが足の遅いかめに向かって、向こうのお山の麓までどちらが先に着けるかを競争して、結局うさぎがかめの遅さに安心して昼寝をしている間に負けてしまうという話だ。

うさぎとかめは山の麓まで行

き着かなければならないことは共通している。ただ、ここで大切なのは、かめはどこを見ていたか？うさぎはどこを見ていたか？ということ。かめはただひたすら山の麓（目的）に目を向けていた。ゆっくりではあっても確実に近づいて行った。さて、うさぎはどうだったか？足の遅いかめに意識（目的）がいつてしまった。かめは、揺るぐこと

なく目的に向って進み、うさぎは目的を見間違えた。

アルシェは本年4月からうるおい交流館エクラの指定管理者として2期目に入ったが、うさぎとかめの、うさぎにならないためにも「市民活動活性化、中間支援組織としての役割」というアルシェの目的をあらためて認識しなければならない時期に来ているのではないかなと思う。

アルシェの主義主張を聞いていただくという、何とも手前みそなこのコーナー。第2回目は副理事長です。指定管理2期目に入って思うところは！？

アルシェイズム
02